

第7回日本放射光学会 放射光基礎講習会 「初心者のための放射光入門講座」報告

日本放射光学会行事幹事 篠原佑也 (東大院新領域)

日本放射光学会では、2007年度以来、放射光科学の裾野の拡大と放射光科学入門者に向けた基礎教育の充実を目的として、放射光基礎講習会を開催しております。初期は主に光学技術を対象とした講習会でしたが、ここ数年は光源、光学技術、応用例まで幅広い内容を対象としております。本年度も各放射光施設およびユーザー団体と協力して、2015年9月2日(水)、3日(木)の2日間にわたり、東京大学柏キャンパス新領域基盤棟大講義室にて放射光基礎講習会を開催しました。学会ホームページの事前登録と当日参加とをあわせて39名に参加いただきました。参加者には本講習会のテキストが配布され、また講師を交えた技術交流会にも無料で招待しました。

講習会の内容に関しては、7名の先生方に講師をつとめていただき(図1)、放射光源の基礎から光学技術入門、さらに回折、分光、蛍光分析、イメージングを利用した研究例から、最新のX線自由電子レーザーで何がわかるのかといったことまで講義していただきました。いずれの講義もすばらしく、主催者として前回に引き続き私も全日程参加しましたが、様々なことを学びました。会場からの質問は前回と比較すると必ずしも多くなかったものの、真剣に受講している様子がありました(図2)。講習会プログラムは以下の通りでした。

プログラム

- 9月2日(水)
 - 10:30-10:45 趣旨説明: 行事幹事
 - 10:45-12:10 軟X線放射光利用ガイド:
松田 巖 (東大)
 - 13:10-14:35 放射光蛍光X線分析の基礎と応用:
中井泉 (東京理科大)
 - 14:45-16:10 放射光源の基礎:

- 北村英男 (理研名誉研究員)
 - 16:20-17:45 ビームライン光学技術入門:
大橋治彦 (JASRI)
- 交流会
 - 9月3日(木)
 - 9:30-10:55 コヒーレンスとX線イメージング:
百生敦 (東北大)
 - 11:05-12:30 構造物性研究入門: 村上洋一 (KEK-PF)
 - 13:30-14:55 XFELで何が出来るのか:
玉作賢治 (理研)

閉会挨拶(会長)

講習会参加者にはアンケートにご協力いただきました(アンケート回収率:87.5%,ただし1日目だけの参加も含む)。まず受講者について、図3にその内訳や放射光利用年数をまとめました。所属としては、民間企業の方から多く参加いただきました。また参加者は放射光の未経験者あるいは3年以内の利用者ではほぼ占められていて、趣旨通りに初心者の方々に講習会に参加いただけました。また参加費については会員割引があるため、講習会への参加時に日本放射光学会へと入会された方もいらっしゃいました。



図2 会場の様子



図1 講師の先生方。左より松田巖、中井泉、北村英男、大橋治彦、百生敦、村上洋一、玉作賢治の各先生。お忙しいところすばらしい講義をしていただきありがとうございました。

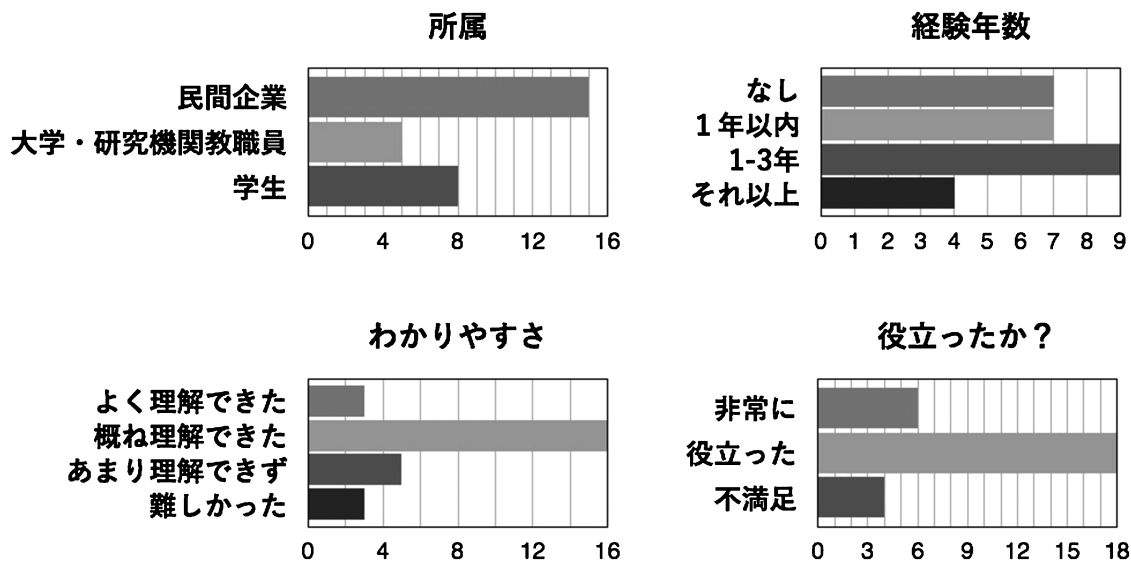


図3 アンケート結果

講義に対する参加者の感想に関しては、おおむね理解できた方が多かったものの、あまり理解できなかった、あるいは難しかったとお答えになった方も一定数いらっしゃいました。また本講習会の内容が役立ったかという設問に対しては、役立ったと答えて頂いた方が多かったものの、今回の内容に不満足な方もいらっしゃいました。前年度の講習会において、さらに専門性の高い講座を期待されていた方もいらっしゃり、今回の講習会はそれには応えるものとなっていたと思いますが、より基礎的な事を期待されていた方には、難しすぎる、あるいは自分の研究・仕事には役立たないと感じられたようです。万人の期待に応える基礎講習会の設定は難しいものの、基礎講習会の対象・内容を事前により明確にして、実際に参加した方がより満足できるようにできたのではないかと、主催者としては今後の反省材料といたします。

前回までとの違いとしては、講習会の参加費の値上げが挙げられます。これまでの基礎講習会では、他学会の同様な講習会と比較しても極めて低い参加費を設定しておりました。しかし昨今の学会の財政状況を鑑みて学会からの支

出を抑え、参加費の値上げに伴う受講者の減少を考えても、参加費のみで講習会を実施できるよう予算設定をいたしました。実施側からはほぼ予算通りの結果となりましたが、受講者のアンケートからは、参加費の値上げ分を考えるとより多様な受講者が満足できるような講義科目の設定、講師間でのすり合わせを期待したい、というコメントもございました。しかし全体としては、受講者の多くの方から、講師の先生方の熱意が伝わってきた、話の内容が面白かったなどのコメントを頂戴しました。特に光学技術や光源などは、放射光を専門としていない立場の人からすると、なかなかまとまった話を聞く機会がないため、極めて貴重な機会であったというコメントを頂戴しました。

最後になりましたが、ご多忙にも関わらず資料を用意していただき、魅力的な講義をしていただいた講師の先生方に、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。また当日の運営を助けてくれた東大院新領域・雨宮研の学生の皆様、本講習会の事務手続きを円滑に進めていただいた事務局の佐藤亜己奈様、企画段階から助けて頂いた行事委員の皆様にも深く感謝いたします。